

東京大学運営方針委員の略歴及び選考理由

氏名：後藤 由季子（ごとう ゆきこ）

現職：東京大学大学院薬学系研究科教授・副研究科長

東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構主任研究者・副研究機構長

略歴：1987 年 3 月 東京大学理学部 卒業

1989 年 3 月 東京大学大学院理学系研究科修士課程 修了

1992 年 3 月 東京大学大学院理学系研究科博士課程 修了（理学博士）

1993 年 7 月 京都大学ウイルス研究所 助手

1998 年 4 月 東京大学分子細胞生物学的研究所 助教授

2002 年 9 月 岡崎国立共同研究機構生理学研究所 客員併任（～2005 年 3 月）

2003 年 4 月 国立遺伝学研究所 客員併任（～2006 年 3 月）

2005 年 4 月 東京大学分子細胞生物学的研究所 教授

2013 年 4 月 東京大学 総長補佐（～2014 年 3 月）

2013 年 10 月 東京大学大学院薬学系研究科 教授（～現在）

2017 年 10 月 東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構 主任研究者
（～現在）

2023 年 4 月 東京大学 教育研究評議会評議員（～現在）

2024 年 4 月 東京大学大学院薬学系研究科 副研究科長（～現在）

運営方針委員の在任年数：0 年

【選考理由】

後藤氏は本学薬学系研究科の教員として教育研究の現場で活動し、さらに長期にわたり本学の分子細胞生物学的研究所において勤務したことから、大学院組織のみならず附置研究所の現場に関する豊富な知識・経験を有している。また、現在は薬学系研究科副研究科長、ニューロインテリジェンス国際研究機構副研究機構長として研究科及び国際高等研究所の機構の運営に携わるとともに、教育研究評議会評議員、IncluDE ジェンダー・エクイティ推進オフィス進学促進部会長や社会連携本部副本部長も務めている。

以上のとおり、後藤氏は本学の教育研究及び運営に関し十分な知識・経験を有しており、東京大学憲章をはじめとする本学の理念・目標に対する十分な理解の下、世界の公共性に奉仕する東京大学の使命を踏まえ、東京大学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、建設的な対話を通じ、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められること、さらには教育研究の現場の意見を代表し本学の運営方針に反映させる者として適切であると教育研究評議会において認められたことから、運営方針委員に相応しいと判断した。

以上